



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 堺化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4078 URL <https://www.sakai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 敏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 服部 浩之

TEL 072-223-4111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	61,370	3.5	5,367	14.7	5,479	10.2	2,900	22.2
2025年3月期第3四半期	63,567	4.6	4,679	174.4	4,970	179.6	3,726	

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,382百万円 (16.9%) 2025年3月期第3四半期 4,067百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	184.88	165.61
2025年3月期第3四半期	229.82	207.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	117,395	78,108	65.6	5,026.76
2025年3月期	123,319	79,386	63.5	4,825.33

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 76,965百万円 2025年3月期 78,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		62.50		72.50	135.00
2026年3月期		65.00			
2026年3月期(予想)				80.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	1.9	6,500	6.7	6,500	3.5	3,000	40.2	191.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	17,000,000 株	2025年3月期	17,000,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	1,688,805 株	2025年3月期	782,320 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	15,690,173 株	2025年3月期3Q	16,214,225 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	11
(重要な後発事象の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、中国経済や相互関税による不透明感が残ってはいるものの、成長事業である電子材料が堅調に推移してきております。その結果、売上高は前年同期比3.5%減の61,370百万円となり、営業利益は前年同期比14.7%増の5,367百万円、経常利益は前年同期比10.2%増の5,479百万円となりましたが、化粧品材料を中心とした減損処理の実施により、親会社株主に帰属する四半期純利益は22.2%減の2,900百万円となりました。

総資産は前連結会計年度末比4.8%減の117,395百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

また、各セグメントの営業損益は全社費用等調整前の金額であります。

電子材料（成長事業）

売上高は前年同期比14.8%増の8,668百万円となり、営業利益は前年同期比25.1%増の1,438百万円となりました。

積層セラミックコンデンサ向け誘電体及び誘電体材料は、車載関連向けは上期後半から復調しはじめ、前年同期比で販売数量が増加しました。またAI関連向けなどが好調に推移し、販売構成の改善や、前期下期からの価格改定の効果もあり、売上高・利益ともに増加しました。

化粧品材料（成長事業）

売上高は前年同期比37.8%減の1,121百万円となり、営業損失は216百万円（前年同期は111百万円の営業利益）となりました。

日焼け止め向けの超微粒子酸化チタン・酸化亜鉛は、国内向けは、中国経済の鈍化の影響を依然受けており、前年同期比で販売数量が減少し、売上高・利益ともに減少しました。また海外向けに関しては、前期末に出荷が集中した影響もあり、前年同期比で販売数量が減少したため、売上高・利益ともに減少しました。

有機化学品（成長事業）

売上高は前年同期比17.4%増の5,427百万円となり、営業利益は前年同期比45.2%増の708百万円となりました。

チオ製品は、販売数量は堅調に推移し、前期に実施した価格改定の効果もあり、利益は増加しました。

医薬品原薬・中間体の生産受託については、前年同期比で販売構成が改善した影響により、売上高・利益ともに増加しました。

衛生材料（安定事業）

売上高は前年同期比6.4%減の3,988百万円となり、営業利益は前年同期比1.9%減の308百万円となりました。

輸入商材の国内販売に関しては、大人向けやペット向け市場が堅調に推移しました。一方、通気性フィルムのインドネシアにおける製造販売に関しては、現地オムツ市場でのコモディティ化による伸び悩みやインフレにともなう人件費高騰などの影響を受け、売上高・利益ともに減少しました。

受託加工（安定事業）

売上高は前年同期比4.1%増の4,994百万円となり、営業利益は前年同期比20.7%増の600百万円となりました。

加工顔料は、上期は顧客の在庫調整等の影響で伸び悩みましたが、下期に入って需要が復調しており、売上高・利益とも横ばいとなりました。一方、焼成・混合・乾燥などの工程受託については、既存品の受託数量の回復や、新規採用もあり、売上高・利益ともに増加しました。

酸化チタン・亜鉛製品（効率化検討事業）

売上高は前年同期比23.7%減の7,635百万円となり、営業利益は前年同期比11.0%減の825百万円となりました。

酸化チタンは、2025年末で顔料級酸化チタンの生産を終了したこともあり、前年同期比で販売数量は減少し、売上高・利益ともに減少しました。

亜鉛製品は、前年同期比で販売は堅調に推移しているものの、国内亜鉛市況の下落の影響により、売上高・利益ともに減少しました。

樹脂添加剤（効率化検討事業）

売上高は前年同期比12.8%減の8,707百万円となり、営業利益は前年同期比25.2%減の802百万円となりました。

国内は、効率化に向けて中国市場向けハイドロタルサイトなど、製品の統廃合を進めた結果、前年同期比で販売数量が減少し、売上高は減少したものの、価格改定が進んでいることから、利益は増加しました。一方海外について、ベトナム法人では、ベトナム現地での非鉛系安定剤の拡販が進みました。しかし、中国市場向けの販売は同国経済の低迷を受け減少し、減収となりました。またタイ法人に関しては、タイ国内経済の停滞の影響を受け、売上高・利益ともに減少しました。

触媒（効率化検討事業）

売上高は前年同期比0.5%増の2,443百万円となり、営業利益は前年同期比231.6%増の542百万円となりました。

前期から進めていた生産拠点集約などの効率化が進捗し、その費用負担が上期後半から軽減しました。水添用のニッケル触媒は前期より販売数量が減少しましたが、価格改定の浸透もあり収益は改善しました。一方、火力発電所やごみ焼却施設で使用される脱硝触媒は、前年同期比で販売数量が減少し、売上高・利益ともに減少しました。

無機材料（効率化検討事業）

売上高は前年同期比1.4%減の3,951百万円となり、営業利益は前年同期比12.3%増の887百万円となりました。

当事業は塗料・インキ向けなどに使用される硫酸バリウムが主ですが、効率化に向けた製品の統廃合などにより前年同期比で販売数量は減少しているものの、価格改定の浸透及び開発品の販売貢献により、利益は増加しました。

医療事業

売上高は前年同期と横ばいの6,581百万円となり、営業利益は前年同期比19.9%減の161百万円となりました。

医療用医薬品については、バリウム造影剤は、国内向け、輸出ともに売上高は減少しましたが、前年同期に一過性の評価損を計上していたこともあり、利益は改善しました。消化性潰瘍治療薬「アルロイドG」は、薬価引き下げの影響と販売数量の減少により、売上高・利益ともに減少しました。

医療機器は、内視鏡洗浄消毒器及び関連の消耗品などの販売が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

かぜ薬「改源」など一般用医薬品は、市場全体が低調で売上高が減少しました。その他、製造受託品の骨充填材は受注が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

（2）財政状態に関する説明（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は117,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,923百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が1,554百万円、投資有価証券が1,245百万円増加したものの、現金及び預金が4,695百万円、仕掛品が1,692百万円、原材料及び貯蔵品が1,549百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は39,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,646百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が2,400百万円、短期借入金が937百万円、賞与引当金が609百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は78,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,277百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率65.6%（前連結会計年度末は63.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、業績の動向や経営環境等を踏まえて見直しを行った結果、2025年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は本日（2026年2月12日）別途開示いたしました「特別損失（減損損失）の計上と連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,183	11,488
受取手形及び売掛金	22,800	22,888
電子記録債権	4,196	4,793
商品及び製品	15,379	16,933
仕掛品	4,860	3,168
原材料及び貯蔵品	6,753	5,203
その他	1,260	982
貸倒引当金	△19	△40
流動資産合計	71,416	65,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,077	17,184
機械装置及び運搬具（純額）	7,632	8,014
工具、器具及び備品（純額）	1,276	1,311
土地	13,493	13,222
建設仮勘定	5,040	3,488
有形固定資産合計	44,520	43,220
無形固定資産		
のれん	777	693
その他	273	451
無形固定資産合計	1,050	1,145
投資その他の資産		
投資有価証券	5,120	6,366
退職給付に係る資産	104	157
繰延税金資産	648	599
その他	489	520
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	6,332	7,611
固定資産合計	51,903	51,978
資産合計	123,319	117,395
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,561	8,218
短期借入金	11,512	10,575
未払法人税等	767	833
賞与引当金	1,341	731
その他の引当金	124	94
その他	5,603	4,941
流動負債合計	27,910	25,394
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	3,000	3,000
長期借入金	7,406	5,005
環境対策引当金	145	155
退職給付に係る負債	4,547	4,529
繰延税金負債	642	987
その他	280	214
固定負債合計	16,022	13,893
負債合計	43,933	39,287

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,838	21,838
資本剰余金	16,774	16,776
利益剰余金	37,767	38,487
自己株式	△1,701	△4,183
株主資本合計	74,679	72,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,223	3,069
繰延ヘッジ損益	△6	△8
為替換算調整勘定	1,151	816
退職給付に係る調整累計額	207	167
その他の包括利益累計額合計	3,576	4,045
新株予約権	35	35
非支配株主持分	1,095	1,107
純資産合計	79,386	78,108
負債純資産合計	123,319	117,395

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	63,567	61,370
売上原価	48,352	45,445
売上総利益	15,214	15,925
販売費及び一般管理費	10,535	10,557
営業利益	4,679	5,367
営業外収益		
受取利息	18	26
受取配当金	170	208
為替差益	131	43
補助金収入	50	50
その他	99	78
営業外収益合計	470	406
営業外費用		
支払利息	101	123
製品回収関連費用	-	70
その他	77	101
営業外費用合計	179	295
経常利益	4,970	5,479
特別利益		
固定資産売却益	1	1,423
投資有価証券売却益	50	0
特別利益合計	52	1,423
特別損失		
固定資産除却損	70	130
減損損失	381	2,433
その他	4	-
特別損失合計	455	2,563
税金等調整前四半期純利益	4,567	4,339
法人税等	725	1,361
四半期純利益	3,842	2,977
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,726	2,900

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	3,842	2,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	845
繰延ヘッジ損益	23	△2
為替換算調整勘定	129	△398
退職給付に係る調整額	△43	△40
その他の包括利益合計	224	404
四半期包括利益	4,067	3,382
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,967	3,369
非支配株主に係る四半期包括利益	99	12

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2025年5月14日開催の取締役会に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式914,000株、2,499百万円を取得いたしました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は2025年11月をもって終了いたしました。

（参考情報）

1. 2025年5月14日開催の取締役会において決議した自己株式の取得に関する内容

- | | |
|---------------|--|
| （1）取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| （2）取得し得る株式の総数 | 1,000,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合6.17%） |
| （3）株式の取得価額の総額 | 2,500,000,000円（上限） |
| （4）取得期間 | 2025年5月15日～2025年11月30日 |
| （5）取得方法 | ①東京証券取引所における市場買付け
②自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による市場買付け |

2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計

- | | |
|---------------|----------------|
| （1）取得した株式の総数 | 914,000株 |
| （2）株式の取得価額の総額 | 2,499,942,000円 |

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	2,757百万円	2,815百万円
のれんの償却額	83百万円	83百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の管理体制を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、管理体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「電子材料」「化粧品材料」「有機化学品」「衛生材料」「受託加工」「酸化チタン・亜鉛製品」「樹脂添加剤」「触媒」「無機材料」「医療事業」及び「その他」の11個を報告セグメントとしております。

なお、堺商事株式会社の完全子会社化に伴い、事業の業績を適切に評価するための管理区分の整理・明確化を目的として、セグメントの区分方法を見直すことといたしました。

このため、前連結会計年度より、従来の「化学事業」セグメント及び「医療事業」セグメントの2個の報告セグメントを、「電子材料」「化粧品材料」「有機化学品」「衛生材料」「受託加工」「酸化チタン・亜鉛製品」「樹脂添加剤」「触媒」「無機材料」「医療事業」及び「その他」の11個の報告セグメントに見直すことといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各セグメントの主な事業内容は下記の通りです。

「電子材料」は高純度誘電体粉末、高輝度無機発光材料等の製造販売をしております。

「化粧品材料」は超微粒子酸化亜鉛、板状硫酸バリウム等の製造販売をしております。

「有機化学品」は有機イオウ化合物、医薬品原薬・中間体等の製造販売をしております。

「衛生材料」は高吸収性ポリマー、通気性フィルム等の製造販売をしております。

「受託加工」はカラー舗装・塗工剤等の受託加工をしております。

「酸化チタン・亜鉛製品」はルチル型酸化チタン、酸化亜鉛等の製造販売をしております。

「樹脂添加剤」は金属石鹸、錫系安定剤等の製造販売をしております。

「触媒」は脱硝触媒、還元ニッケル触媒等の製造販売をしております。

「無機材料」は硫酸バリウム、炭酸ストロンチウム等の製造販売をしております。

「医療事業」は医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器等の製造販売をしております。

「その他」はリン酸化合物等の販売、酢酸ニッケル、路面標示材等の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益であり、その会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
及び固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	電子材料	化粧品材料	有機化学品	衛生材料	受託加工	酸化チタン・亜鉛製品	樹脂添加剤
売上高							
外部顧客への売上高	7,548	1,802	4,622	4,262	4,799	10,009	9,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	21	-	233	276	15
計	7,548	1,802	4,643	4,262	5,032	10,286	10,003
セグメント利益	1,150	111	488	314	497	926	1,072

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	触媒	無機材料	医療事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,432	4,006	6,580	7,515	63,567	-	63,567
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	1,230	159	105	2,060	△2,060	-
計	2,449	5,237	6,740	7,621	65,627	△2,060	63,567
セグメント利益	163	790	201	784	6,502	△1,822	4,679

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,822百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,822百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない提出会社の一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「電子材料」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において4百万円であります。

「有機化学品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1百万円であります。

「酸化チタン・亜鉛製品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において105百万円であります。

「樹脂添加剤」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において20百万円であります。

「触媒」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において18百万円であります。

「無機材料」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において164百万円であります。

「医療事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては66百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	電子材料	化粧品材料	有機化学品	衛生材料	受託加工	酸化チタン・亜鉛製品	樹脂添加剤
売上高							
外部顧客への売上高	8,668	1,121	5,427	3,988	4,994	7,635	8,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	11	-	192	212	14
計	8,668	1,121	5,439	3,988	5,186	7,847	8,721
セグメント利益又は損失(△)	1,438	△216	708	308	600	825	802

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	触媒	無機材料	医療事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,443	3,951	6,581	7,851	61,370	-	61,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	729	-	141	1,387	△1,387	-
計	2,529	4,680	6,581	7,993	62,758	△1,387	61,370
セグメント利益又は損失(△)	542	887	161	1,136	7,196	△1,828	5,367

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,828百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,828百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない提出会社の一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「化粧品材料」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において2,413百万円であります。

「有機化学品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5百万円であります。

「医療事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては14百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

（重要な後発事象の注記）

（自己株式の消却）

当社は、2025年12月23日開催の取締役会において決議した会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を、次のとおり完了いたしました。

- （1）消却した株式の種類 普通株式
- （2）消却した株式の数 1,000,000株
（消却前の発行済株式の総数に対する割合 5.88%）
- （3）消却日 2026年1月30日
- （4）消却後の発行済株式の総数 16,000,000株
- （5）消却後の自己株式数 688,751株